

南 関 町 議 会 だ よ り

ふん

やまざと

VOL.64

[12月定例議会号]
令和4年2月15日



「松風音楽村」のみなさん

『生の声を聴く』コーナー(14頁)に登場

■会 員 数：30人

6グループ：風楽、9-states、来夢来人、Junjin Band、Satisfaction、Fellows

■主な活動：春の音楽フェスティバル、冬のクリスマスパーティーライブの開催をはじめ、各会員バンド毎による各地域の催しやイベントへの参加、音響機材とオペレーターによるイベントの音楽支援等。

なんかんのギカイ

南関町議会の内容を分かりやすくお伝えします。

この議案で質疑されました。

1 〈議案第67号〉 令和3年度南関町一般会計補正予算（第3号）について

全会一致 可決

質疑 地方特別交付金の新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金について（西田議員）

（西田議員）歳入で補正額が8,531万2,000円となっている。説明では、家屋償却資産の分の減税分の補填ということであったが、この内訳金額と件数等を尋ねる？

（総務課長）家屋の分が29件で、5,443万6,000円。償却資産分が42件、3,087万6,000円です。よって、固定資産の減収分につきましてはこれで補填されるので、税額には影響がない。

（西田議員）税額のほうには影響がないということであるが、これだけ減税されているということは、企業は苦勞されていると思う。こういう交付金を含め、企業等に対して、今後も対策等をしていく必要があると思う。



討論なし



採決 異議なし



この議案が可決され、これから変わります。

2 〈議案第59号〉 南関町役場の位置に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

全会一致 可決

庁舎移転により役場、消防団、保健センター、地域包括支援センターの所在地の変更を行いました。

住所変更

3 〈議案第60号〉 南関町課設置条例及び南関町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

全会一致 可決

第六次南関町行政改革大綱に係る組織再編に伴い、健康推進課を創設しました。

4 〈議案第61号〉 南関町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

全会一致 可決

地方公務員法第24条の趣旨に添い、管理職員特別勤務手当を適正なものにしました。災害時等で午前0時から午前5時までの勤務を加えました。

5 〈議案第62号〉 南関町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
〈議案第63号〉 南関町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

全会一致 可決

出産育児一時金を従来の42万円を実質据え置く措置。



6 〈議案第64号〉 南関町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

全会一致 可決

支援員認定研修の受講拡大のため中核市の長も実施できるようになりました。

7 〈議案第65号〉 南関町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

全会一致 可決

デジタル化対応でデジタルでの保存を可能にしました。



8 〈議案第66号〉南関町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

全会
一致 **可決**

デジタル化対応でデジタルでの保存を可能にしました。

9 〈議案第67号～71号〉補正予算、一般会計(第3号)、国民健康保険(第2号)、介護保険(第3号)、浄化槽(第1号)、下水道事業(第3号)について

全会
一致 **可決**

補正予算を可決しました。

10 〈議案第72号〉工事請負契約の締結について



全会
一致 **可決**

町道久重・長山線その2道路災害復旧工事が株式会社 良田建設に5,071万円で工事請負契約をしました。

11 〈議案第73号〉工事請負契約の変更について

全会
一致 **可決**

豊永字受地-1地区の工事内容変更により6,622万円を5,361万円へ変更して請負変更契約を締結されました。

12 〈議案第74号～84号〉南関町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

全会
一致 **同意**

令和4年4月からの新しい委員を11名を同意しました。

13 〈委員会提出議案第2号〉南関町議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について



全会
一致 **可決**

条例文を見直し、適正なものにしました。

12月6日(月) 定例議会前に全員協議会開催

一部掲載

鳥インフルエンザ発生に伴う対策及び経緯について説明(経済課)

令和3年12月2日(木)

11:30 農場より通報

13:13 鳥インフルエンザ陽性判明

16:00 初動防疫開始
第一回対策本部会議

23:00 支援・運営防疫開始

12月4日(土)

4:00 殺処分終了

12月6日(月)

4:00 防疫措置終了



21日後 終息

移動制限の解除、消毒ポイントの終了

鳥インフルエンザ発生に伴う議会対応について(議員のみ)

12月定例議会直前の発生であり、議長から提案があった。

副議長・議会運営委員会委員長の3人が急遽集まり、議会の進め方について話し合った結果「一般質問を冒頭質問及び冒頭答申のみとし、追加質問は文書で行う」

(理由) 職員が鳥インフルエンザ対策に集中しており、一般質問の答弁資料を準備する時間がとれなかった。

それに対して、議員から

●鳥インフルエンザ対策のピー

クが治まるまで、会期を延期して、通常通りに行う形もあった。

●議会運営委員会を開催して決めるべきではなかったのか。

●こうした突発的な事件の時、議会はどう動くのかを事前に決めておく議会BCP(事業継続計画)を、来期のテーマとして作成することを提案する。

などの意見が出たが、当初の進めた方案で実施となった。



子育て世帯への臨時給付金について

【経緯・背景】

新型コロナウイルス感染症が長期化、子育て世帯（児童を養育している者の年収が960万円以上（子ども2人）の世帯を除き）について、0歳から高校3年生までの子供たちに1人当たり10万円相当の給付を行う。

※この時点では、先行給付金（5万円）とクーポン給付（5万円相当）の組合せ

（議員） 農業者の場合の年収はどうか？

（福祉課） 農業所得となる。1年間分の実際の総収入金額から、実際の必要経費を差し引いた農業所得で、申告した金額になる。

【その後の経緯】

議会後に、政府の方針が3つの方法を自治体が実情において選択できるようになった。

南関町は、一括給付金（10万円）を選択し、年内までに支給した。



3回目コロナワクチン接種について

【経緯・背景】

諸外国において、2回ワクチンを接種した場合であっても、時間の経過とともにワクチンの有効性や免疫原性が低下することが報告されている。

国の方針に基づき、追加接種（3回目接種）を実施する。

（議員） 時期はいつ頃になるのか？

（保健センター） 高齢者は2～3月の見込み

（議員） 優先接種は、医療関係、デーサービス施設従事者などか？

（保健センター） 前回同様でその予定。

（議員） 場所は新庁舎になるのか？

（保健センター） まだ決定して

いないが、手順等が慣れた現保健センターを考えている。

（議員） 靴を脱いで手に持って回るのは止めて、靴のままでの要望が出ている。

（保健センター） 検討してみる。



南関町長選挙・南関町議会議員選挙

令和4年

投票日 **2月20日**



期日前投票

期間：2月16日(水)～19日(土)
8時30分～20時
場所：新庁舎1F こもれびホール

あなたの背中を見て、将来子どもたちも投票へ

～子どもと一緒に選挙にいこう～



右のグラフのとおり、親子連れ投票は子どもの将来の投票につながっています。





初のオンライン(zoom)での開催

熊本県町村議会の30自治体が参加した。4つのグループに分かれ、1つのグループに7～8自治体が、講義を聞いた後に、グループ内の議会だよりについて具体的に、評価し合う例年のパターンを今年はオンラインで行った。オンライン形式に変わっても、例年と同様に有意義な研修会ができた。



当誌への評価

総評…全ての文章が横書きで統一しており読みやすい。特に数字が見やすい。全ページカラーで、写真やイラストが多用され、色使いもやさしい。ただ、詰込み的な感じがして読むのに疲れる。余白が欲しい。

良かった点…表紙写真の笑顔が目を引き、そして中身の特集記事と連動しており、読者がページを開くようにうまく誘導されている。

- 議案の内容とどう変わるかは読者にわかりやすい。
- 町長提出議案19件、議員提出議案0件の表記は興味深い
- 「生の声を聴く」は文字通り生の声が聞こえてくる。
- 「私が考える南関町の未来」は18歳未満に限定した良い企画、顔の表情も良い。

改善点…表紙の上下に2つのタイトルがあるように見え、ばらついて印象を受ける。

- 議案審議となっているが、審議というよりは議案の解説になっている。また文字が多い。
- 委員会研修の内容が、町の広報的な紹介お勧めになっている。議会としてどう取り組んだかが欲しい。
- 一般質問が答弁より、質問にウエイトが置かれている。

全国の上位町村に学ぶ

応募311点。上位10点の内7点は前回と同じ町村であり、レベルが継承されている。

① 住民と共に考える姿勢の徹底

住民、現役世代との座談会や「議員と語る会」「住民のちょっと言わせて」など住民と一緒に議会だよりの企画が上位町村に多い。

② 町の広報との違いが鮮明

決まったことの紹介説明でなく、議会で審議議論した内容を住民は知りたい。

③ 一般質問の扱い

議員にとっては華であり、一般質問主体の議会だよりが初期には多かったが、1人1ページから3～4人に1ページへとポイントを絞った掲載となってきた。

④ 第三者の目

「伝える」から「伝わる」へ。住民にわかったか確認するためのモニター制やアンケートで確認している。

⑤ 提言や要望がどう反映されたか

議会が動き、その結果が次の動きとなる政策サイクルを回し、議会だよりで伝えている。



※全国最優秀賞 埼玉県寄居町議会だより



1. 調査の目的

委員会では、放課後児童クラブにおける待機児童問題を取り上げ、調査を進めております。

町は令和4年度から二小児童クラブ・四小児童クラブの新規開設等の案を示していますが、さらなる児童クラブの充実・改善の提案をすべく現状を把握したいと考えています。

また、インターネットなどの高度情報化や少子化、核家族化といった要因により児童を取り巻く生活環境が大きく変化している現実も踏まえ、児童の生活環境についても現況調査をし、こうした変化に対して、保護者の皆様方はどう対応されておられるのか、また町政への要望をお持ちなのか、皆様の思いや考えを把握するものです。

この結果をもとに、町行政に対して政策提言をしていく所存です。

2. 調査概要

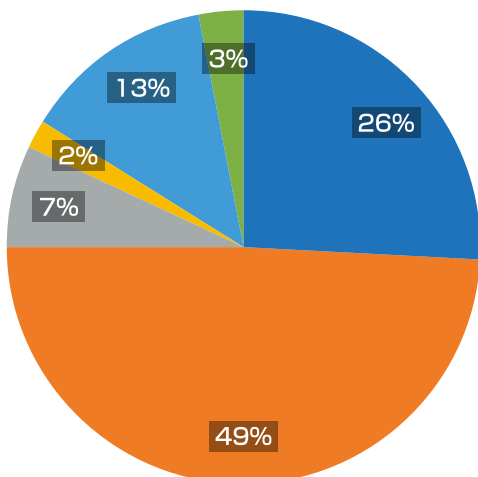
- 調査地域：南関町立小学校 全4校
- 調査対象：児童の保護者
- 抽出方法：全員



3. 調査結果分析

放課後の過ごし方（全体）

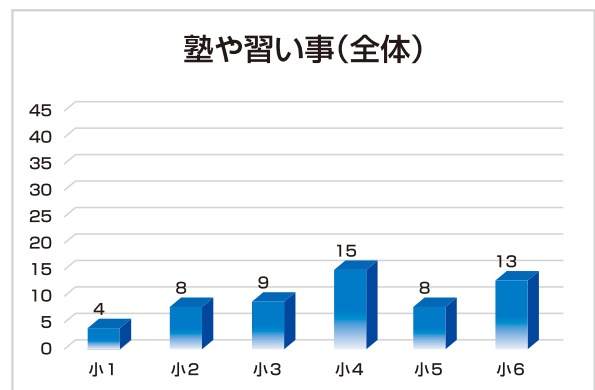
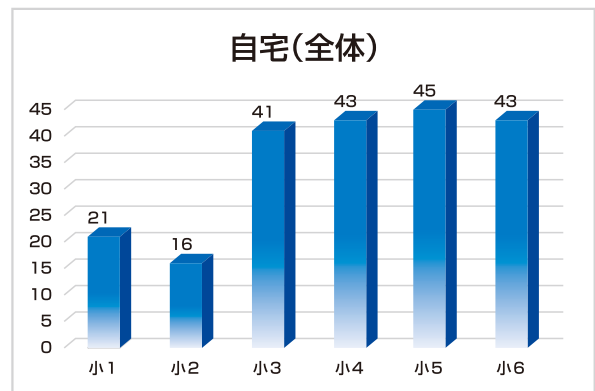
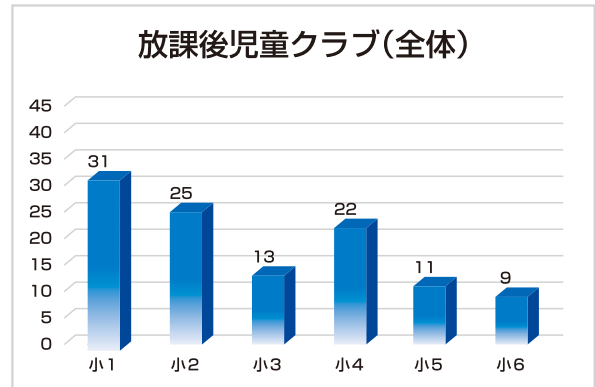
- 1. 放課後児童クラブ利用
- 2. 自宅 / 二世帯含む
- 3. 別居の祖父母宅
- 4. 友人や知人宅
- 5. 塾や習い事
- 6. その他



【結果から見えること】

- 約半数（49%）の児童が放課後を自宅で過ごしている
- 放課後児童クラブで過ごしている児童は、約1/4（26%）

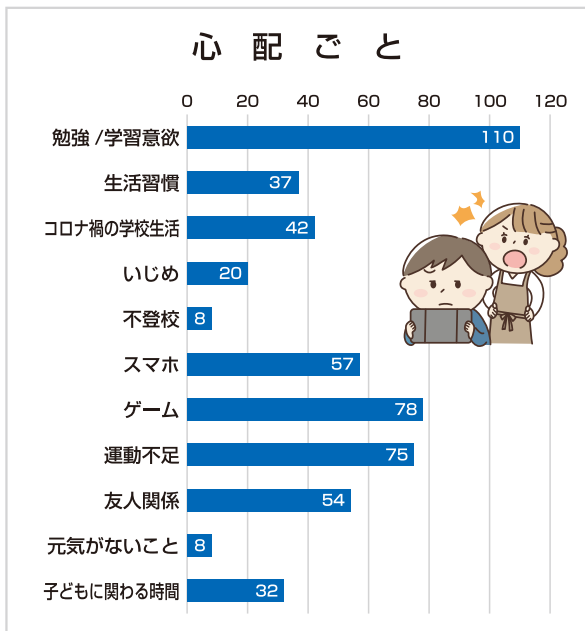
(1) 過ごし方の学年傾向



【結果から見えること】

- 放課後児童クラブに通う児童数は学年が進むごとに減少する
- 自宅で過ごす児童数は、3年以上で増える
- 塾や習い事を始める児童が学年を追うごとに増えているが4年生で伸びは止まっている。

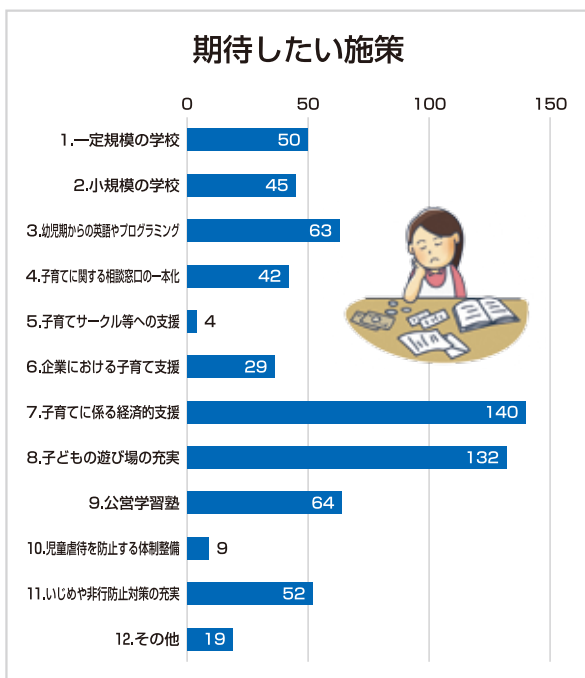
(2) お子さんに関する心配ごと



【結果から見えること】

- 一番多い心配事は、「勉強 / 学習意欲」
- 次が、「スマホ」「ゲーム」そして関連すると思われる「運動不足」「友達関係」

(3) 町にどのような施策を期待しますか



【結果から見えること】

- 一番多い期待したい施策は、「子育てに係る経済的支援」
- 二番目が、「子どもの遊び場」
- 三番目が、「公営学習塾」「幼児期から英語やプログラミングなど特別な教育を提供する環境」など教育の場



4. 今後の分析及び活動テーマへ

広い範囲の調査内容としたために、結果をいろいろな切り口で分析することができる良い調査結果となりました。

現在の第17期議会の文教厚生常任委員会での取り組みは、『児童の生活環境調査』【全体編】の結果分析、及び【結果から見えること】を各項目ごとにコメントを入れるところで終了します。

そして令和4年3月から始まる、第18期議会の文教厚生常任委員会へ引き渡しを行います。

第18期議会の文教厚生常任委員会にて、この目標である「子育て、教育がしやすいまちづくり」において、当委員会が取り組んでいく具体的なテーマを設定し、調査対象となりました全小学生および保護者の皆様の「声」「期待」に寄り添う形で政策提言・活動が進んでいくように期待します。

5. アンケート調査結果全頁の閲覧方法

南関町HPの議会ページに全内容を掲載しています。

<https://www.town.nankan.lg.jp/page3004.html>



【お知らせ】今回の一般質問は鳥インフルエンザ感染症が議会開催直前に発生したために、再質問と再答弁は文書でのやり取りとなりました。この記事は文書でのやり取りを含んだ内容で各議員が仕上げています。

- ・ 一般質問の記事：質問した議員が1100～1300文字程度に要約して執筆したものです。原文を尊重して掲載しています。
- ・ 発言が「～である」調に記載されていますが、質問・答弁共に「です・ます」調で発言されています。
- ・ 「会議録」は南関町図書館および町ホームページで閲覧できます。12月議会分は3月に公開予定。



総務産業常任委員
地方創生調査特別副委員長
有明広域行政事務組合議員

杉村博明

杉村「南関町の企業誘致が進んでいないように思うが？」 町長「企業誘致が進んでいないとの認識はない！」

(町長) 適用工場の指定要件としては、本町における企業の発展に資するため、新設又は増設する者に対し、3年間の固定資産税の課税免除等を行い、本町産業の振興を図ることを目的としており、指定業種として製造業で約8年間で設備投資額の総額が162億5510万円となっており、町税収入額も着実に伸びており、県北地域では一番実績がある自治体であると思っている。



ており、必要があれば直接県へ出向くなど、現在も綿密な情報交換は継続している。



企業誘致は進んだのか？

今回の一般質問は、急遽鳥インフルエンザ対策で、再質問や再答弁が出来ず持ち時間も限られた議会であり、不完全燃焼のまま一般質問が終わり残念であった。

南関町の企業誘致が進んでいないと思うが、佐藤町長になり2期8年間で新規の企業進出は何件あったかを尋ねる。また増設された企業は何件あったか、今後の企業誘致計画予定はあるのかを聞く。そして企業誘致が進んでいない問題点は何だと思うか町長の見解聞く。

2期8年の実績

町長の2期8年で新規の企業がどれだけあったか的確に把握したいと私は思っている。また町民の方も同様に知りたいと思われる。また増設については、既存の企業増設があり、これに対してどれだけ従業員数が増えてきたか？

(町長) 私が町長に就任し、4月で2期8年を迎えようとしているが、これまでの企業誘致活動の動きとしては、南関町工場等設置奨励条例に基づき、適用工場の指定を受け新設された企業3件、増設された企業9件ある。

トップセールス

県企業立地課へ今まで誘致に関しては、町と県のパイプを絶やすことなく行われていると思うが、月1回程度企業立地課に出向き情報収集を行っているのか、町長はトップセールスということで積極的に取り組まれていたと思うが現状は如何なものか問う

(町長) 私のトップセールスも含めた企業に寄り添いタイミングを逃さない企業誘致活動を信条とし、町として出来る限りの支援をさせていただき、その一つが県との連携であり、担当職員へは県との情報交換は密に行うよう指示し

町長の2期8年で企業誘致が進んだのだろうか？以前と比べると進んでいないように思えるが、私だけだろうか？自問自答するところである。

町の人口減少が止まらない近年、企業誘致と宅地開発を進め定住促進を進めることが、いま必要である。

